

第1回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日時：令和4年6月2日

場所：岩手県民会館第2会議室

令和4年度第1回いわての森林づくり県民税事業評価委員会会議録

1 開 会

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

ただいまから令和4年度第1回いわての森林づくり県民税事業評価委員会を開催いたします。私は進行を務めます、林業振興課の田村でございます。本日はよろしく願いいたします。委員の皆様には、ご多用のところご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日は、お手元の次第裏面の出席者名簿の通り、10名中9名の委員にご出席いただいております、本委員会の設置要綱第6条第2項の規定により、この会議が成立していることを報告いたします。

それでは、報告に入ります前に、令和4年4月1日付けで、事務局職員の異動がございましたので、新任の職員を紹介させていただきます。

林業振興課主任主査の千田啓介でございます。

林業振興課主事の木村直樹でございます。

林業振興課主事の目黒有紀でございます。

また、事務局の職員及び担当者が出席しておりますが、時間の都合上、紹介は割愛させていただきます。新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、3密を避けるため、県の職員は、当該事業の説明時等のみ入室する職員もおりますので、御了承願います。

2 議 題

(1) 令和3年度いわての森林づくり推進事業の実績について

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

それでは、会議を進めさせていただきます。

今回の委員会は次第にあります通り「令和3年度いわての森林づくり推進事業の実績について」、「令和4年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取について」、「その他」の3項目を用意しております。

議事の進行につきましては、委員長の國崎委員にお願いいたします。

(國崎委員長)

それでは議事に入っていきたいと思っておりますけれども、皆さんお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今日議題としてはその他を除くと、2件ありますので1つ1つ丁寧にやっていければと思います。

まず1つ目ですが、事業の実績報告書について、説明していただいて、意見、御質問いただくという形でやっていきたいと思っておりますので、1番のいわての森林づくり県民税の概要というところから、3番の③林野火災予防対策事業まで、事務局の方から説明していただくという形でやっていきたいと思っておりますので、御説明をよろしくお願いいたします。

(林業振興課：澤崎主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 1、2 及び 3-① を説明】

(森林整備課：中嶋主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 3-① を説明】

(森林整備課：伊藤主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 3-② を説明】

(森林整備課：中嶋主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 3-③ を説明】

(國崎委員長)

ただいま御説明いただいた内容につきまして、御質問御意見ございましたら、よろしく願いいたします。

(國崎委員長)

私から1点、数字の確認をさせていただきたいのですが、2ページのこれまでの実施状況の(2)主な取り組み実績という表ですけれども、環境の森整備事業の強度間伐等というところの目標面積の数字ですが、令和3年度見込みが740ヘクタールです。これは強度間伐等なので混交林誘導伐とアカマツ広葉樹林化ですけれども、別な資料を見ていくと、この2つを足すと約640ヘクタールのはずなので、なぜこれが740haだろうというのが分からなくて、何が、プラス100ha分ほどあるのかというのを教えていただければと思います。

(林業振興課：澤崎主任主査)

740haという数字は、県のアクションプランがございまして、そちらで立てている計画数値で

ございます。混交林誘導伐は確かに600haということでございまして、同じく広葉樹林化させるということでアカマツ分を足しております、混交林誘導伐の方も頑張るという感じですけども、届いていないという状況でそういう数字になっております。環境再生造林を足すというわけではございません。

(國崎委員長)

例えば5ページのところで、令和3年度における事業所毎の施工地確保状況というところの計画値を足していないということですね。そうすると、目標面積の整合性が非常に分かりにくいので、そのあたりでもうちょっと分かりやすく、後で構いませんので、補足をしていただきたいと思います。

(林業振興課：澤崎主任主査)

承知いたしました。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。若生委員、お願いします。

(若生委員)

今回この資料についてのことで、その後はどうするところまでは踏み込まない方がいいでしょうか。

(國崎委員長)

それはまた別な時間を取ってやりますので、基本的にはその3年度までの過去の実績についての御意見・御質問いただければと思います。

(若生委員)

分かりました。新規事業等、林業事業体とか実施主体のところには、大いにPRしているというのが分かったのですが、片方で県民の皆さんや市町村等が広報をこう見て、やって欲しいという依頼をすることについてはどうだったのかが、これを読んだときに見えなかったもので、その部分を追記するというのは難しいでしょうか。そこが書かれてくると、今の悩んでいるところが、さらに延ばせる可能性もあるのではないかなと思いますので、お伺いしたいと思います。

(林業振興課：澤崎主任主査)

現場の森林所有者がということですね。この後に説明もするのですが、森林所有者宛てにチラシを配布しまして、それから非常に県庁にたくさんの電話が来るようになったということで、その時に丁寧に御説明はしています。今後増えてくればいいなと考えております。

(若生委員)

ありがとうございました。森林所有者の方がいる場合の森林についてはそれでいいと思うのですが、例えば景観上ということで、皆が通っている道路上のこと等、平泉や浄法寺近辺のところ

で、そういうところを見つけたときにどうするのかというふうなPRというか、その部分の周知というのはまだまだかなと思っていて、その辺に関しては令和3年度のところでは話題に上ったりはしていなかったでしょうか。県民の皆さんに向けても、周知をしていくというのは出てはいないということでしょうか。

(林業振興課：澤崎主任主査)

一般向けのチラシを作成して配布はしているところで、そういった電話は確かにきました。危ない木があるのだけれどという相談もあります。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

昨年度、大幅に用途を拡充させていただいたというところで、昨年度中にパンフレットを結構多めに作っておりますので、それらをまずは局に配布したり市町村に配布したりして、そういうところから取り組んでおりますので、委員から御指摘があった通りさらにそういうのが周りに広がるように進めていきたいと思っております。

(國崎委員長)

混交林誘導伐は、平成18年始まった時に緊急に整備すべきということで、26,000haという数字を出して、これが令和3年度までという計画を立てていました。第4期の5年間は、仮にその600ha掛ける5年ということで3,000ha出すようにやると、26,000haに行くということで、おそらく第3期の終わりにおける岩手県の決意がそこに現れて、そういう数字になっているのかなと勝手に解釈しています。いずれにしても強度間伐等、施工地の確保というところで、課題を抱えています。これは長く委員をやっている方は御存知ですけれども、5年以上前からそれは各委員が懸念を示しているというところですので、この第4期で、できるだけ達成率100%以上になるようにというところですね。前の岡田委員長もおっしゃったように、先送りみたいな形ですときているので、何としてみても、26,000haまでは無理だとしても、この第4期と合わせて3,000haぐらいというところは、ぜひ頑張っていたいただきたいと思っております。

(橋本林務担当技監兼全国植樹祭推進室長)

大変貴重な御意見ありがとうございました。

特に平成18年からやっている環境の森については、今委員長がおっしゃられたように、3期から4期に繰り越す時も課題として出てきたのが、場所が遠くなったということで、そこには作業道ができるようにするというところでスタートしました。作業道に関する条件は、なかなか現地にマッチしないところがあり、昨年度の見直しの中で、よく見直して、使えるようにしました。環境の森整備事業は、ポイントとなる事業なので、4期でやろうというところは必ずやらないと、県民から見ても、なんだという話になるだろうということで、昨年度から気合いを入れてやっているところです。さらに今年度は気合いを入れて、目標をしっかりと達成するように取り組むことで、事務局の方でも意識を共有していますので、そこはしっかりと対応していきたいと考えております。

(國崎委員長)

ぜひよろしくお願ひいたします。佐藤重昭委員、よろしくお願ひします。

(佐藤重昭委員)

カラマツを我々見に行ったわけですが、同じような状況の山が皆伐して、麓はカラマツを伐って再造林し、萌芽更新を待っているのですが、笹だらけで草が生えて、1年ぐらい経っています。カラマツも活着が悪くて、もう一回植え直しということなのですが、やはりコンテナ苗と普通の苗だと、コスト的には去年見た感じだと下層植生は笹だらけで、笹が多かったです。皆伐したところが、やはりコスト的にちょっと高いかもしれないけれども、活着率は高い気がします。今後ちゃんと下層植生を考える上で、そういうところはしっかりと笹が生える場所があるのかという点と、コンテナ苗と普通苗について、コスト面や活着率の面を教えていただければと思います。

(森林整備課：伊藤主任主査)

ありがとうございます。主伐、皆伐した伐採跡地に笹が入るのかということですが、必ずしも皆伐、主伐した場所に全部笹が入るというものではないかと思ひます。もともと、こういった笹類が入っているような場所や周辺にそういった笹の植生があるような場所については、こういうふうに伐採跡地になって改良しますと、競争をする樹種がなくなるものですから、やはり笹は強い植物でございますので、近くへ伸ばしてどんどん面的に広がっていくということはあるので、少しでも笹があると笹が広がりを見せてしまうというのはあるかと思ひます。ただ、もともと笹が、占有しないような場所もございますので、そういった場所は伐採跡地であっても、なかなか笹類に覆われることはないということで、これは場所によるものかなと思ひます。

2点目のカラマツの苗木でございますが、裸苗と言われるものと、コンテナ苗と言われるものがカラマツの苗の主流となっております。当県でも昔は、裸苗しかなかったのですが、コンテナ苗ということで、苗木生産者の方々も施設整備を行って、県内でも大きく3ヶ所で、コンテナ苗を作る整備施設というのを補助等も行い整理しました。その施設を活用して、今まさにコンテナ苗が盛んに生産されているという状況でございます。コンテナ苗は、芽が通常の裸苗よりもしっかりと出来上がってございますので、乾燥に強く植栽の時期が広いという利点はございます。しかし、裸苗も植栽時期をきちんと守れば、きちんと活着しますので、これについてはどちらの苗だから、強いとか弱いとか、そういうのではないかと思ひます。苗の特性に応じて、きちんと適度に植栽の作業を行うということが必要かと思ひます。

また、価格でございますが、現状としましてはカラマツの裸苗が、一本100円か110円ぐらいなのですが、コンテナ苗はですね190円ぐらいのはずですので、若干やはり6割ぐらいが高いというのは、実態でございます。コンテナ苗は、ドリルで開けて差していくような植栽のやり方で、効率的にはいいので、植栽のトータルコストとしては、そんなに差がないというのが我々の認識でございます。以上でよろしいでしょうか。

(佐藤重昭委員)

大変勉強になりました。ありがとうございました。

(國崎委員長)

ありがとうございます。そうしますと3番の④の1、県民参加の森林づくり促進事業から、3番の⑦森林公園機能強化事業までを御説明いただきたいと思いますので事務局の担当の方よろしくお願いたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No. 1 に基づき 4-①を説明】

(森林整備課：橋本主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 4-②を説明】

(林業振興課：木村主事) 【資料 No. 1 に基づき 5 を説明】

(森林整備課：橋本主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 6 を説明】

(鈴木森林保全課主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 7 を説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。

そうしましたら、御質問御意見ありましたらよろしくお願いたします。吉野委員、よろしくお願いたします。

(吉野委員)

森林山村多面的機能強化対策事業について、里山再生の方で私が参加しているところであります。平成25年から令和3年までの表がありまして、下に累計があるのですが、計算した感じだと、累計の面積の方が、全部足すと、実際に整備している面積になっていると思います。そうじゃないとこの6,000という数字にならないし、全部足したらもっと大きい数になるはずです。実績の整備面積で、森林資源量もそうだと思います。活動する団体数ですが、全部足して784団体になるのですが、これは3年間同じ団体がローリングで仕事をしていくので、延べ数でいえば784団体と言えないこともないのですが、実質的には被っているんで、施工の面積の方が実面積を出しているのであれば、団体の方も実際にやっている団体数の方が正確ではないかなと思います。いかがでしょうか。

(森林整備課：橋本主任主査)

毎年度の補助金申請をしている組織の数ということで整理はしているのですが、おっしゃる通り縦で足していくと、それはもうローリングで複数年やっている方がいるので、そこは当然実際の組織数と違うのですが、どのような表記が分かりやすいか検討して整理をさせていただきたいと思います。

(吉野委員)

要するに、規則・ルールや注意書きがあればそれでいいと思うのですが、片方は合計せずに片方は実質面積っていうのは、何も表記がなかったのではっきりさせた方がいいかなと思確認し

ました。以上です。

(森林整備課：橋本主任主査)

ありがとうございます。

(國崎委員長)

非常に大事なところでしたので、御検討よろしくお願ひいたします。他いかがでしょうか。水野委員よろしくお願ひします。

(水野委員)

県民参加の森林づくり促進事業の森のチェーンソー講座ですが、17 ページでは、事業効果が 14 年間で 400 名以上が参加しているということだったのですが、16 ページの表だと、令和 3 年度の参加者実績が 327 人になっているみたいなのですが、13 年間からいきなり増えたという認識でよかったですでしょうか

(林業振興課：木村主事)

確認いたしますので少々お待ちください。

(國崎委員長)

おそらくこの団体さんはそのチェーンソー講座以外のいろんな学習会を開く等しているのですが、それをトータルすると、令和 3 年の 327 人のうちの一部の方が、チェーンソー講座に参加されていたと思います。そういう研修受けられた方は、数十名なのだと思いますが、事務局の方よろしいですか。御説明お願ひします。

(林業振興課：木村主事)

即答できないので、後程御報告いたします。

(國崎委員長)

分かりました。だいぶ昔ですが、私も学習会の講師をやったことがあります。その時の感じだと一度に何百人も集めて、そのチェーンソー技術の研修をしているというようなことは、多分彼らの考え方だとありえないと思います。いろんな学習会等やった中での 300 何人という数字、もしくは延べの数字だと思いますので、後程、事務局の方は調べて教えてくださるということなので保留にさせていただければと思います。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。よろしいですか。

残りは⑧全国植樹祭の開催準備のところから、今年度の予算についてというところまでですので、御説明いただきたいのですが、要領よくできるだけ手短にお願ひいたします。説明をお願ひしたいと思います。

(全国植樹祭推進室：似内主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 8 を説明】

(森林整備課：橋本主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 9 を説明】

(林業振興課：澤崎主任主査) 【資料 No. 1 に基づき 10、11、「令和 4 年度いわての森林づくり推進事業の予算について」を説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。それでは何か御質問御意見ございましたらよろしくお願ひします。よろしいですか。

議題の 1 「令和 3 年度いわての森林づくり推進事業の実績について」は、ここまでにさせていただきたいと思ひます。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

県民参加の森林促進事業の意見聴取に入る前に、休憩を取りたいと思ひます。それでは 15 時から再開いたします。よろしくお願ひします。

(2) 令和 5 年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取について (2 次募集分)

(國崎委員長)

それでは、再開し、次の議題に移ります。議題 (2) 「令和 4 年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取 (2 次募集分) について」です。事務局から説明をお願ひします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 No. 3 に基づき 1～3 番を説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。どこからでも構いませんので、確認したいことや御意見がございましたらよろしくお願ひいたします。

(若生委員)

1 番のホホホの森探検隊について、内容としては非常に素晴らしいと思ひます。

1 つ確認したいところは、今後実施を予定している活動の中で、何回か箱庭づくりのような原材料費がかかるのではないかなと思ひするような活動が 2 回ぐらい入っていたような気がするのですが、それは今回の事業以外のところで支出するので、ここには記載されていないということで心配はないか確認したいと思ひます。

もう 1 つですが、2 番の事業を採択回数 2 回ではなく 1 回ということで、昨年も違う団体名で同じような活動があったので、令和 3 年度、令和 4 年度と書いてあるのか、違う団体でやるとすればこの書き方は、これでよろしいのかなと思ひたいところを確認したいと思ひます。

(國崎委員長)

それでは事務局お願ひします。

(林業振興課：木村主事)

北上里山クラブの件に関しては、令和3年度に1度採択になって実際に活動を実施したという実績になりますので、1回。正しくはそういった解釈となります。今回採択ならば、実績にという形になります。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主任)

御質問の件ですが、御参加いただく方から保険代として、各自1人100円いただくことになっておりますので、そちらを見込んで、実施することで伺っております。

(若生委員)

分かりました。

(國崎委員長)

水野委員お願いします。

(水野委員)

今100円を徴収するという話だったのですが、保険代ということになると、おそらく経費内訳の支出のところで役務費でスタッフ代込み、おそらく障害保険料代が入っているのですけれども、その場合は、収入じゃなくてもいいですか。100円の収入があると思うのですが、それは経費の収入の補助の方で受ける必要はないでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

確認して、後程お答えいたします。申し訳ありません。

(國崎委員長)

おそらく過去にそういったケースがあった時に、どういうふうに記載されているか、確認いただければと思いますので、基本的にはそのような形で確認いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

2番の団体さんは、同意書というのは、森林を使用しているという所有者さんからの書類で、宛名が黒岩里山クラブとなっております。ここでも北上里山クラブとなっておりますが、かつて黒岩里山クラブというふうな名称だったのか、それとも北上里山クラブというふうに本来書くべきだったと理解すればよろしいですか。そのあたりを教えていただければと思います。

(花巻農林振興センター：辻村技師)

御指摘いただきました様式第2号の宛名の件なのですが、把握しておりませんでしたので、申し訳ございません。団体の方に改めて、確認したいと思います。

(國崎委員長)

こういう書類が提出されたということは形式的な記載のミスと理解すればよいということで、

何も追加で聞き取りをしてくださいという意味ではないのですが、万が一黒岩里山クラブさんの別な団体が存在しているのを流用してということだとまずいので、そういうことではないということが、振興局で確認できれば大丈夫です。要は適切に対応していただければということで、指摘したところですよ。他いかがでしょうか。佐藤貴美子委員よろしくお願ひします。

(佐藤貴美子委員)

ホホホの森なのですけれど、公園内に施設をつくるという計画が生きているのであれば教えていただきたいです。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

ホホホの森の計画自体が現在どのように進行中かという御質問かととらえましたが、詳しい進行状況等については、当方で把握しておりませんでしたので、必要があれば盛岡市に確認したいと思ひます。

(佐藤貴美子委員)

はい。了解です。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。若生委員、お願ひします。

(若生委員)

一番の保険料等について、21円掛ける参加者分掛ける100名で、県民税の方に計上してあるのので、チラシの方の表記を材料代等と分けていただひて、集めたものが保険代に該当しないのであれば、表に記載する時に団体の方の経費として別途支払いみたいな感じで分けた方がすっきりするのではないかなと思ひますが、いかがでしょうか。

(盛岡広域振興局林務部：松尾主査)

了解いたしました。団体の方からも確認いたしまして、適切に記載するように努めたいと思ひます。ありがとうございます。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。

3番の団体ですけれども、整備していただひていいと思ひますが、県産材利用促進活動という項目があるかと思ひるので、今回の資料ですと、木材利用による環境保全効果等を周知する普及啓発活動と連動したというような文言がついているので、待合所を設置するだけではなく、何かお披露目会等で環境保全は大事ですよねというようなことも、アピールしていただひくのが付随していると、本来的にはいいと思ひます。田村さんお願ひします。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

委員長御指摘の通り、やはり森林環境保全に繋がる取り組みというところで、周知方法だけで

はなく、この施設が良いということが伝わるように工夫して、事業を進めるように指示したいと思います。今委員長がおっしゃられた通り、団体、自治体やるものについて、そういう使い方も併せて今後検討していきたいと思います。ありがとうございます。

(國崎委員長)

よろしくをお願いします。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。そうしましたら、今出た質問や意見を踏まえて、団体はもちろん事務局、振興局の担当の方で細部まで詰めていただいて、適切な事業実施ということで、つなげていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

(3) その他

(國崎委員長)

以上ですが、3その他ですけれども事務局から何かございますか。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

事務局からは特にございません。

(林業振興課：千田主任主査)

先ほど質問いただいた人数は14年間で400名と、1年間で30名、この人数の書きぶりの単年度の方は、参加延べ人数で記載しておりますので、こちらの400人は実人数で、実人数と延べ人数の違いということで御認識いただければと思います。遅くなりまして申し訳ありませんでした。ありがとうございました。

(國崎委員長)

ありがとうございました。

(國崎委員長)

議事を一旦事務局にお返ししたいと思います。

3 閉 会

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

國崎委員長、長時間にわたり円滑な議事進行について大変ありがとうございました。
委員の皆様、本日はありがとうございました。ここで事務局より、次回日程について御連絡いたします。

(林業振興課：澤崎主任主査)

先程お知らせしましたが8月ごろに現地調査を予定しております。令和4年の進捗状況などを実施したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

それでは、評価委員会を閉会といたします。